



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブ
ライフ・クラブ
ナルク
NALC 横浜
発行者 吉川 武

横浜市旭区鶴ヶ峰2-52-2
TEL 045-719-5001
FAX 045-719-5002
Email: nalchama@minos.ocn.ne.jp
http://www.nalc-hama.net/

第22回 ナルク横浜定時総会の準備始まる

事務局次長 棟保禎彦

昨年、ナルク横浜設立20周年という意義ある年に、種々の企画が推進され「記念行事実行チーム」「記念誌発行チーム」「生活支援・助け合いチーム」「会員拡大チーム」「成年後見準備チーム」「八十路会チーム」の6プロジェクトは、多くの会員のご協力を得つつ工夫を凝らし、みごとな成果を残しました。本年は、その大きな節目を超

えて“更なる成長と発展”に向けて力強く歩みを加速して行く年です。

そんな思いを込めつつ「本年度ナルク横浜定時総会」の開催に向けて、準備委員会がスタートし、具体的な検討と準備が始まりました。次に要約をお伝えいたします。



(写真は昨年の様子です)

開催日：6月5日(日) 12時30分より
開催場所：旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」

【内 容】

定時総会：昨年の取り組みについて成果と課題を確認するとともに、本年の活動について方向づけや具体的取り組みについて、会員の全員で討議し決定してまいります。

作品紹介：多くの会員は、ボランティアで活動される傍らいろいろな趣味でも活躍されています。彫刻・手芸・絵画・絵手紙・写真・習字・押花などをはじめ皆様の作品を展示します。出展希望者を募っていますので、希望者は早めにブロック長にお申し出ください。

演芸披露：ボランティアや趣味で活躍されている方々から、演芸を披露していただきます。コーラス・歌唱・詩吟や謡曲・楽器演奏・手品をはじめ色々な取り組みでボランティアや演奏会でご活躍されている方々、当日出演希望者は早めにブロック長にお申し出ください。会場スペースや時間の制約もありますが、相談させていただきます。

懇親会：総会后、ささやかですが懇親会を開催します。各ブロックの壁を超えて交流を深め、心通いあう仲間を増やす場としてご活用ください。

詳細のご案内は、5月初旬にご自宅宛お届けします。会員の皆様、お誘いあわせの上ぜひご参加ください。運営委員一同心から待ちいたしております。



3月度末会員数:505名、(男性:216、女性:289)



やさしさも楽しさも
ある
ナルク横浜

ブロック	預託時間点数			奉仕時間		
	2月	3月	合計	2月	3月	合計
横浜北	132	150	282	126	184	310
横浜中央	61	77	138	68	73	141
横浜西	301	369	670	127	139	266
湘南	34	48	82	64	63	127
合計	528	644	1172	385	459	844



ナルク横浜の成年後見 ～法人後見の先輩たち～

ナルク市民後見人会 福江 孝夫

3月14日、法人後見関係者や法人後見に関心のある人々を対象に「かながわの成年後見～これまで、そしてこれから～」と題するフォーラムが中区桜木町で開催されました。

成年後見制度での成年後見人等には個人の就任が一般的ですが、法人(NPO法人、社会福祉協議会、生協法人など)もなることが可能です。ナルクの成年後見活動は、将来の判断能力不足に備えて、会員とNPO法人ナルクとが「任意後見契約」を結ぶのですから、法人後見となります。

個人による後見と比較して、法人後見の長所として次のことが示されました。

1. 多数の眼で確認し、不正を防止
2. 組織の蓄積、総合力の活用が可能
3. 後見担当者の変更が可能(健康、相性などに不安が生じた場合)

後見活動は契約にもとづき長期にわたります。

法人はメンバーの連携・共同により対応しやすいとはいえ、ナルクが組織として永続していくことが前提である、と改めて気付きます。

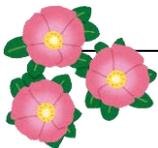
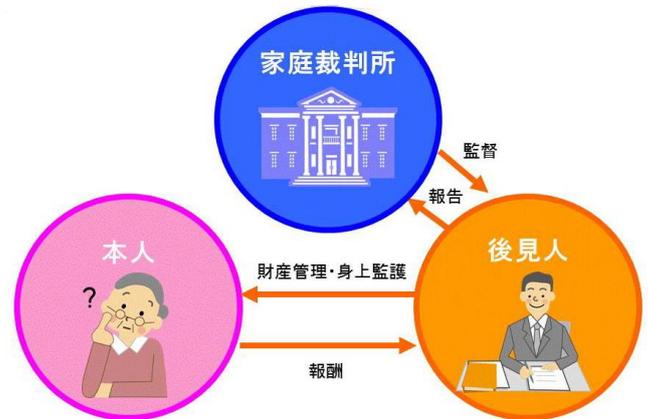
フォーラムではNPOの3法人から発表がありました。そのうちの2法人は障がい者の家

族会が、個人として子息の世話をできなくなる事態に備えて、後見活動に取り組んでいます。運営規則や組織の整備、後見業務担当者の養成などの準備を経て、家庭裁判所へ後見申立て(法定後見)を行い、承認事例が出ています。

あるNPO法人の事業内容も紹介されました。

1. 面談・電話による相談業務
2. 成年後見人の受任
3. 制度の利用についての諸手続き支援
4. 制度の勉強会、出前講座の実施
5. 出張型専門相談会の実施

ナルク横浜は現在これらを実行できませんが、会員の後見制度への関心を高め、また後見人会の準備を積み重ねていきます。



第3回「春の集い」が開催されました!

サロン委員長 沼沢 新太郎

「オーシャンゼリーゼ」を合唱しました。



3月30日(水)13時より、平塚市旧横浜ゴム記念館「八幡山の洋館」にて、第3回春の集いが盛大に開催されました。

吉川代表の開会あいさつに続いて、第一部は森中さんの琵琶、真砂野さん、今さんによる詩吟・独吟が披露されました。

コーヒブレイクに続き第二部は、ららの会による混合合唱、内田さんご夫妻のギター演奏、江沢さんのピアノと斗南さんのシャンソン独唱、最後に斗南さんのご提案で、全員が



平成26年から3年にわたり開催して参りました「春の集い」も、会場などの都合で、今

回が最終回となりました。

最後は、サロン委員長のあいさつで閉会しました。



～各ブロックの地域活動～



北ブロック

リーダー：吉武 道子

北ブロックは、横浜市の北部地域、緑・青葉・都筑の各区と相模原市・座間市・町田市の一部から構成されています。地域との連携は、青葉区奈良地域包括支援センターから、支援の必要な方の紹介を受けて入会いただき、近隣の会員が対応できる範囲で、支援をしています。

青葉区民まつりには毎年参加し、トトロの折紙教室は、大人にも子どもにも大人気で、ナルク横浜の知名度アップに貢献しています。奈良地区ケアプラザの夏まつりに初参加、PRチラシの配布や、トトロを折りました。今年は緑区でも市民まつりに参加しPRをと考えています。相模原市では、市民活動団体登録し、広報活動を展開しています。2月は市の「市民活動サポートセンター利用者懇談会・交流会」に参加しました。今後も地域と積極的に連携し、広報活動を展開していきます。

西ブロック

リーダー：上菌 正昭

西ブロックの地域活動では、旭区の「きらっと旭福祉大会」、泉区の「カレッジバイキング」、大和市の「かっこフェスタ」があります。

そこでの活動は、ナルクのPRが目的のもの、会員の手作り品を販売しながら、PRも行うものに分けられます。

この活動を通じて多くの新規会員を迎えることができました。とりわけ、泉区の「カレッジバイキング」での活動は顕著なものでした。また、図書館での書架整理、ケアセンターでの書道指導なども奉仕点数を付与し、地域活動として取り組まれています。

今後とも引き続き地域活動に取り組み、ナルク横浜をPRして、会員の拡大に努めたいと考えています。

湘南ブロック

リーダー：棟保 禎彦

湘南ブロックは、平塚市・茅ヶ崎市・藤沢市その他の地域から構成されています。

地域連携では、比較的会員数の多かった平塚市を主体として活動が進み、春開催の「ボランティア&市民活動・見本市」や秋の「市民活動センターまつり」、そして平塚市条例に基づく「市民活動推進委員会」の委員として市政に参画するなど地域との連携を深めてまいりました。

昨年、茅ヶ崎市・藤沢市にも市民活動団体登録をすませ、さっそく春開催の「茅ヶ崎サポートセンターまつり」に参加し茅ヶ崎市での活動をスタートしました。今後、藤沢市にも順次活動の輪を広げていきます。

中央ブロック

リーダー：宮田 皓旦

中央ブロックでは、地域におけるナルク横浜の認知度を高め、結果として会員の拡大につなげるため、まず保土ヶ谷地区の3組織「保土ヶ谷区役所」「社会福祉協議会」「ほ도가や市民活動センター（アワーズ）」を訪問して情報収集を行ったところ、さっそく「ほ도가や花フェスタ」に出展が決まりました。今後は、この結果をベースにブロック長を中心に関係者間で検討し、各団体が開催するイベントへの出展・交流会に出席して、ナルク活動をPRする予定です。他ブロックで既に実施されているイベントの出展など、直ちに実現することは難しいですが、粘り強く取り組んで参ります。

新入会員のみなさんを紹介（敬称略）～H28年2,3月度現在～

〈北ブロック〉

磯寄 圭介 青葉区奈良町
白石 佐多子 緑区東本郷

〈中央ブロック〉

永弘 アサミ 栄区上郷町

〈西ブロック〉

八重尾 和子 旭区上白根町
林 則子 大和市福田

〈湘南ブロック〉

佐藤光夫・勝代 平塚市徳延

【ナルクの会報がきっかけでした】

西ブロック 内田 成孝・絵美子

昨年、ナルクについての会報<新聞記事>を読んだきっかけで入会しました。今のところ二人とも健康、健脚なところが取り柄です。

趣味のギターは夫婦でメンバーになっているクラブも7年目に入り、ナルクではギターを通じて施設のお年寄りと一緒に交流できれば、と思っています。時間の調整や譜面の用意等いろいろ準備を要しますが、その内軌道にのって実現することを目標にしています。

【ナルク横浜へ入会して】

中央ブロック 森 大樹

私は、NKF（ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部）への参加を契機に、ナルク横浜に入会しました。本業は行政書士であり、入会早々後見人会にも参加させていただきました。

これまで、行政書士会の無料相談会で相談員を務めたほか、地元青年会議所の会員として町づくりのボランティアをしてきました。若輩者ですが、ナルク活動に貢献できればと考えておりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



ボランティア体験談

私のボランティア活動

北ブロック 植屋 和子
 元気なうちに少しは何かお役にたてたら、と思いき数年前より少しずつボランティア活動をしています。現在はグループホームのおはなし相手と、ディサービスの入浴時のお手伝いに、月一日ずつ行っています。グループホームでは、気候の良い折は近くの公園まで手を貸したり、車イスを押したりして、季節の移り変わりを感じながらお散歩です。室内ではゲームをしたり、昔懐かしい歌を唄ったり、お話ししたりしています。ディサービスでは、入浴時の衣類の着脱の介助をしています。入浴を楽しみにしている方も多反面、喜んで入浴する方ばかりではないので、施設の方の指示を仰ぎ、ご様子をみながらお手伝いをしています。利用者の気持ちに寄りそうよう、傾聴の心得や声掛け等、以前受講した「介護サポート講座」の講師の方々のお話を思い出し、参考にしながらやっています。無理をしないで、自分自身出来ることを、今後も続けていきたいと思っています。



平塚のまちから落書きをなくそう

湘南ブロック 原園 信夫

2002年日韓ワールドカップでナイジェリアが平塚



をキャンプ地と決めました。その時、平塚の七夕会場である中心商店街は、アーケードの支柱、店のシャッターすべてに落書きがある状態でした。これをなくそうと

一人の女性のアイデアで、行政・企業・商店街・市民団体が集まり「平塚をみがく会」と名づけ、落書きけし消しと当時主流だった違法看板の撤去を行いました。消しても、消しても落書きされる地下道は、自治会や老人会と協力し、小中学生に絵を描いてもらい落書き防止に努めています。お陰さまで、国土交通省のホームページには「景観まちづくり」に紹介され、小学6年生の道徳の教科書にも平塚の落書きの写真とともに、課題提起されています。



一歩こう会

- 6&7月度: 歴史講座大河ドラマ「真田丸」
 日時: 6月11日(土)、7月9日(土)
 14時~16時
 開催場所: 鶴ヶ峰駅下車5分[ぱれっと旭]
 [問合せ]: 湘南B 仲摩 (0466-87-8840)
 湘南B 吉川 (0463-58-6030)
- 8月度: お休み
- 9月度: 石垣山一夜城跡散策
 日時: 9月20日(火)
 集合場所: 箱根登山鉄道入生田駅
 集合時間: 改札口午前10時
 [問合せ]: 北 B 沼沢 (042-733-8528)
 湘南B 吉川 (0463-58-6030)
- 10月度: おおるり一泊旅行
 草津温泉(予定)
 日時: 10月11日(火)~(水)

川柳

ハマっ子広場

- * ブランドに飽きバーゲンに満たされる
 - * 故郷に少女に戻る友がいる
 - 〈俳句〉
 - * 朧夜やバリトンを聴く夕宴
 - * 枕辺の推理小説おぼろ月
 - * 待ち望む退院の日や黄水仙
 - * ポケットに手帳を入れて春探す
- 正道 昌子 皓且 ちかね 小道

あとがき

人が健康に生きるには、食事・運動・心のリセットが必要と、医師の鎌田實さんが語っていました。そして、その健康は人生を楽しむ為の要件の一つだと続きます。ナルク横浜の方々との交流のなかで常々感じていたことと重なり、うまく表現したものだと心に刻みました。

様々な経歴を持った人びとが、共にボランティア活動で助け合い、共に趣味に興じ、喜んで動き、遊んでいる。

いい加減さが上手にバランスをとって、活動できるのは気持ちの良いものです。

編集委員 片倉 壽子